

一般質問



一般質問は、6月15日、16日、17日の3日間行われ、20人の議員が登壇しました。一般質問は、2面から5面に掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載) 尚、各議員の記事にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



健康長寿の実現に向けて「飲み込む力」の向上を

自民・新政 風間 正子

一 高齢者の食の支援について

問 高齢に伴い飲み込む力が衰えると、食事中に咳き込むようになり、食事をうまく飲み込めず、誤嚥性肺炎を引き起こし、命を落とす高齢者が増えている。喉の筋力トレーニングを普及させるなど、飲み込む力を低下させないための取り組みが必要と考えるが、どのような取り組みが必要か。

答 介護予防事業にフレイルチェックを取り入れているほか、口腔機能の改善を図る各種事業を実施している。提案された喉の筋力トレーニングは、飲み込む力をつけるために有効であると考えられることから、口腔機能の改善メニューに加えていきたい。

要望 健康長寿の実現の鍵は、飲み込む力を維持し、喉の機能を低下させないことである。飲み込む力の重要性を周知し、食べることの喜びから生きる力につながるような支援に努めてほしい。

二 減量について

問 はだのクリーンセンター施設での焼却体制に向けて、事業系ごみ減量への取り組みはどうか。

答 収集運搬許可業者が持ち込むごみの検査回数を増やすとともに、

市内全事業所への訪問調査を進め、適正処理の指導や資源化の提案を行うなど、さらなる減量を図る。要望 次の世代に残すべき地球の環境を守るため、国の方針や資源化技術の調査研究を進め、さらなるごみ減量に努めてほしい。

市民クラブ 野々山 静香

一 共生社会に向けた学校教育の取組について

問 通常学級に在籍している子どもたちにおいても、支援が必要な児童・生徒がいる中、本市の※通級指導教室の現状はどうか。



共生社会の実現に向けて学びの環境へ充実した支援を

答 小学校段階からの支援の積み重ねが生きている一方で、中学校

進学により学校生活への適応が難しくなる生徒が増えており、平成30年度に巡回型の中学校通級指導教室を設置した。当初、担当教諭1人、市内3校でスタートしたが、令和3年度から担当教諭2人、市内5校に拡充し支援に努める。

子どもたちの多様な学びの支援に努めよ



次代に残す環境を守るため、さらなるごみ減量が求められる



「表丹沢魅力づくり構想」の推進で市内中小企業の活性化を

創和会 福森 真司

一 水道事業経営について

問 コロナ禍における水道事業の健全経営への取り組みはどうか。

答 厳しい経営環境ではあるが、「はだの上下水道ビジョン」を着実に実行し、健全経営に努める。要望 市民生活に欠かせないライフレインであるため、事業の健全経営を維持しつつ、安全・安心を

二 ふるさと納税について

問 税外収入確保が重要な中、令和3年度の取り組みはどうか。

答 新聞折り込みの広告掲載により、新たな年齢層の寄付を見込む。また、商工会議所ニュースの募集記事を活用し返礼品発掘に努める。要望 関係各所との連携や情報共有により、本市の魅力ある新たな返礼品の発掘に努めてほしい。

三 農工商連携による表丹沢魅力づくり構想の推進について

問 表丹沢魅力づくり構想の具現化に向けた取り組みはどうか。

答 4駅周辺をはじめとする市街地との連携や、市域全体のにぎわいの底上げも不可欠である。今後

市長は、病気の家族の介護に時間を費やす子どもの実態調査をせよ

日本共産党 佐藤 文昭

一 ※ヤングケアラーについて

問 文部科学省の実態調査によれば、病気の家族の介護などをしてい

る子どもは、1日に7時間以上を費やしている生徒は1割を超えている。本市の状況はどうか。

答 具体的な数字はつかないが、各学校では、アンケートの実施や教育相談などを活用し、一人一人の子どもたちの声に寄り添える環境づくりに努めていく。

二 教育施策について

問 県内では、女子トイレに無償

ティッシュとの連携を含めた支援体制の構築や、大学生ボランティア派遣制度を拡充し、意欲のある大学生を活用することで、多様化する一人一人の教育的ニーズに対応していきたい。

意見 子どもたちが同じ場で学び、育つことに対する充実した支援が共生社会の実現につながる。



農工商連携で新たな魅力づくりの推進を(表丹沢魅力づくり構想コンセプトブック)

は全国ブランドを持つ事業者との連携方法も検討し、実現に努める。要望 農工商連携で推進することが構想の具現化、表丹沢のブランディングと新たな魅力の創出に効果的であり、既存企業の活性化、さらには新たな企業の進出にもつながると考える。農工商連携による表丹沢魅力づくり構想の推進に積極的に取り組んでほしい。

の生理用品を置く取り組みが広がっている。本市も無償で学校の女子トイレに常備すべきだがどうか。

答 生活状況などを把握し、保健指導や相談につなげるため、保健室で配付することとしている。

問 国は小学校の学級人数を40人から35人とした。中学校での35人学級と小・中学校での30人学級実現について、考えはどうか。

答 文部科学大臣は小・中学校の30人学級に近づけていきたいと述べている。本市では、教室と教職員確保が課題であり、少人数学級の早期実現に向けて、必要な予算措置などを国や県へ要望する。

三 オリンピック・パラリンピックに向けた本市の対応について

問 中井町は児童・生徒の五輪観戦中止を決定した。オリパラの中止を国に要望すべきだがどうか。

答 国はさまざまな考慮した上で総合的に判断し、現在、開催に向けて進んでいるものと考えている。



未来を担う子どもたちのために「森遊び場」を整備を

無所属 木村 眞澄

一 表丹沢野外活動センター森林遊び場の整備について

問 表丹沢野外活動センター森林遊び場は、豊かな自然環境を生かし、子どもが自由な発想で遊びを考案することができると期待されているが、整備に

限定的な予算が確保できず、整備が遅れている。整備に限りなく、広い視点で検討したい。

要望 遊びは子どもの人格をつくり発達を促す。特に8歳ごろまでの集団・自然体験が不可欠である。子どもが自分のアイデアとスタイルで創造できる空間としてほしい。

二 ヘルプマークについて

問 認知度はどうか。

答 令和元年度の神奈川県民ニーズ調査では「知っている」36%、「知らなかった」49.3%だった。

要望 援助や配慮が必要な人への気付きや思いやりの行動につながるよう、普及に努めてほしい。

三 ヤングケアラーについて

問 該当すると思われる子どもがいた場合、学校の対応はどうか。

答 いち早く相談窓口につながるなど学校が関係機関とのパイプ役になり支援を進めることが重要である。子どもが相談しやすい信頼関係を構築し、問題解決に努めたい。

要望 国・県の調査を活用するだけでなく、自治体の実態を把握することが重要である。子どもが子どもらしく生き生きと生活するために、独自に実態調査を進めるとともに、支援の充実を努めてほしい。



豊かな自然を生かした「プレイパーク」として整備を(写真は、表丹沢野外活動センター森林遊び場)

議長公務(6月~8月)

議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。

今井 実 議長

- 6月
 - 29日(火) 第74回秦野たばこ祭第2回実行委員会
- 7月
 - 28日(水) インハイ~一票に想いを乗せて@高校生議会~
 - 29日(木) 関東市議会議長会 正副会長会議・第1回支部長会議
- 8月
 - 6日(金) 令和3年度秦野市戦没者追悼平和祈念式典

会派の表記について 「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。

用語解説 ※通級指導教室…小学校または中学校の通常の学級に在籍しほとんどの授業を通常の学級で受けながら、個別に教育的配慮が必要な児童生徒に対して、特性に応じた特別な支援を特別の場で行うこと ※ヤングケアラー…法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと